

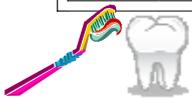


鹿嶋マイハート便り

発行元：千葉県循環器病センター 地域医療連携室（直）0436-50-6501 F A X 0436-50-6503
 〒290-0512 千葉県市原市鶴舞575 0436-88-3111(代表) F A X 0436-88-3032
 U R L <http://www.chibakenritsubyouin.jp/junkan/index.html>

循環器病センター5つの運営指標

良質で模範的な医療の提供を目指します。
 温かさ・思いやりの心で県民の皆様がいつでも安心して受診できる施設を目指します。
 常に高度で先進的な医療を提供するため、職員一人ひとりが技術研鑽に努めます。
 近隣の病院・診療所と密接な連携をはかり、地域全体の医療の向上を目指します。
 透明性の有る医療を目指し、インフォームドコンセント（十分な説明・同意）に努めます。



循環器病センターの口腔ケアチームをご存知ですか？



口腔ケアとは？

口腔ケアとは、文字通り口腔（お口の中）の状態を改善することです。口腔ケアの目的の一つは、虫歯や歯周病を予防することです。患者さんの中にはご自分で歯磨きができない方もいらっしゃいますので、そのような場合には、当センターの口腔ケアチームが介入して、ケアを行います。もう一つの目的は、口腔の状態が原因で引き起こされる肺炎などの感染症を予防することです。特に入院患者さんや高齢者の方は免疫力が低下していますので、感染症にかからないよう、口腔内の細菌の数をケアによってできる限り減らしておくことが重要です。



チームで力を合わせてケアを行います！
 ~ 口腔ケアチーム集合 ~



口腔ケアチーム 担当医 佐久間先生へインタビュー



口腔ケアチームの活動を教えてください。

毎週水曜日の午後に、病棟から依頼のあった患者さんに対してチームで診察・評価をしています。

口腔ケアの方法や注意点を教えてください。

歯に対しては歯ブラシや歯間ブラシを使って歯磨きをします。粘膜や舌にはスポンジブラシを使います。洗口液や水に浸したブラシで歯を擦るとプラーク（歯垢）が出てきますので、それが咽頭に流れ込まないうちに、拭き取ったり吸引したりして回収します。

チームの担当医として心がけていることは？

患者さんを訪問する際はなるべく私自身が清掃を行うようにしています。実際にケアを行って初めて口腔内の異常やケアの難しさに気づくことがあるからです。



歯磨きのコツのようなものはありますか？

歯ブラシは歯を一本ずつ磨くつもりで細かく動かし、少しずつ移動させていくのが良いです。こうすることによって毛先が歯にしっかりと当たります。また、人によって歯並びが違いますので、ご自分の磨き残しやすい部分を把握することも重要です。歯医者さんで歯磨き指導を受けるのも良いでしょう。

歯科医師として患者さんに一言。

口腔ケアは毎日行う必要があります。手間がかかり大変ですが、その必要性について理解していただき、口腔ケアや口の中の事に関心を持っていただければ幸いです。



週1回の回診風景



エチケットチェック！怠っていませんか？ 私達がサポートさせていただきます。 ～口腔ケアチームのご紹介～



みなさんにインタビューに答えていただきました！！
Q1.それぞれの専門職として、チーム内の役割は？
Q2.どんな視点を持ってチームに参加していますか？
Q3.患者さんに一言お願いします！

歯科衛生士 田中 幸子

- Q1.歯科の先生と入院病棟を回診し、口腔清掃やブラッシングの指導、口腔マッサージ、口腔乾燥の予防を実施しています。
Q2.患者さんの立場に立ってわかりやすく、理解してもらえるような指導で参加しています。
Q3.口腔ケアが健康に役立ち、重要であることを理解していただき、ご協力をお願いします。



副看護部長 小倉 比佐子

- Q1.歯科医師を中心に他職種の方たちと口腔ケアチームを立ち上げ、週1回病棟を巡回し、患者さんに口腔ケアを実践しております。私は今年度からオブザーバーとして参加しています。
Q2.看護部・口腔ケアチームの技術が向上し、より良いケアが患者さん・ご家族の方々に提供できるよう、実践・研鑽しています。
Q3.口の健康が大切です。「ねたきりゼロ」へ向け口腔ケアをご一緒に行いましょう！うがい・歯磨き・歯石を除く定期的な歯科受診が重要です。よく噛み、よく食べ、よく話し、唾液をよく出し、若さを保ちましょう！



外来看護師長 吉野 仁子

- Q1.いろいろな職種の方がいますので、お互いに自由に意見が言えるようにチームの雰囲気作りをすることが私の役割だと思っています。
Q2.看護職として、生活を支えるという視点を忘れないようにしています。患者さんのできる事と介助を必要とすることを見極めて、できないことに手を差し伸べる事が大切だと思っています。
Q3.口の中が不潔になると、虫歯や歯周病だけでなくばい菌の流れ込みにより肺炎などの病気を引き起こします。病気を治すことに加えて口の中をきれいにすることも大切に考えてぜひ口腔ケアの依頼をしてください。お待ちしております。



CCU・SCU看護師長 長島 恭子

- Q1.口腔ケアチームの活動を看護の中に根付かせ、口腔ケアが看護師の重要な役割であると認識しながら、責任を持って患者さんにケアを提供できるようにすることです。
Q2.口腔内の清潔を保つことは肺炎・心筋梗塞の予防や、糖尿病・高血圧のコントロールにも影響すると言われています。また、嚥下にも深くかかわっています。疾患に関連するだけでなく、人の基本的な欲求である「食べる事」をスムーズに行うための援助を、他職種と協働して行っていきたくて参加しています。
Q3.病気の予防はもちろんのこと、食べる事をスムーズにし、お口の中を綺麗にして入院生活をお過ごしいただけるよう、チーム活動を行っていきます。毎週水曜日に病棟で回診していますので、ご質問などがありましたら、お声をかけてください。



言語聴覚士(ST) 神作 暁美

- Q1.食べる事、飲む事、話す事を共通して行っている主な器官が「口腔」です。STはこれらのとても大切な行為に障害のある方々のリハビリテーションを行っています。STにとって患者さん個々に合った口腔ケアは必要不可欠です。口腔ケアでお口の状態が改善すると、食べる事や話す事の能力を高める事につながります。また、巡回の際、患者さんの普段の食事や会話の状況を伝えて、口腔ケアの工夫に活かしてもらっています。
Q2.リハビリテーション科では脳卒中などの病気で後遺症のある方々を担当しています。口腔内のトラブルを抱えている方が多く、口腔ケアにより状態が良くなり、おいしく食事が摂れるとリハビリの効果にも良い影響があると考えられます。必要な方には看護師に口腔ケア巡回を依頼してもらえる様、積極的に声を掛けています。
Q3.入院中の方で、お口に関して気になる点があればぜひ口腔ケア回診を希望してください。また、巡回で提供させて頂いた指導内容を継続していただければ幸いです。



作業療法士(OT) 小出 歩

- Q1.各患者さんの身体機能及び高次機能をチェックし、口腔ケアへの影響を考えています。口腔ケアを日常生活動作のセルフケアの一部として考え、介助量軽減やご本人の意識付けなどの方法の検討もしています。
Q2.各患者さんの口腔ケアに対する意識・理解度や、患者さんの動作・行為の正確さの確認をしています。高次機能障害を持っている方も多く、口腔ケア時の影響を検討し、必要に応じて本人のみならず、ご家族や病棟看護師にアドバイス・相談等もしています。また、マヒや姿勢保持能力など身体機能面の確認も行っています。
Q3.口腔ケアは口の中を清潔に保つばかりでなく、美味しく食べる機能や楽しく話す機能を維持・促進し、誤嚥予防や早期離床にもつながります。日ごろから、お口の中の健康に注意を向け正しいケアを行いましょう。



どのように行われているの？当センターの感染症対策

病院には多様な病原体が集まるため、他の施設よりも感染症にかかるリスクが高くなります。そのため、各病院は細心の注意を払ってその防止に努めています。今回は当センターの院内感染に対する取り組みを取り上げ、みなさまにご紹介したいと思います。

《院内感染対策における各部署の役割》

医師

患者さんが感染していないかチェックをします。入院患者さんのもとより外来患者さんについてもチェックし、結果に対して適切な対応を行います。患者さんに関する感染だけでなく環境感染制御など、院内感染対策のリーダーとして活動しています。



検査科

検査の結果どんな菌に感染しているかという情報を迅速かつ的確に提供します。また、院内の感染情報を集計し提供してくれます。環境調査時は検体を採取・培養し、菌を発見するという感染制御の第1歩を担っています。



薬剤部

薬剤に関する情報提供を行い、特に抗生剤や消毒薬について適切な使用管理に向けた意識付けを行っています。抗生剤の使用状況を調査し、院内の会議で報告し情報提供しています。



看護部

患者さんの状態を把握し、医師と情報交換することで感染兆候を早期に発見することを心がけています。感染予防に関する患者さんの指導も担っています。環境調整のラウンドを行い、環境改善に向けた活動をしており、大きな実戦部隊となっています。



院内感染対策委員会副委員長 高井副看護部長インタビュー



院内での感染症対策にあたって特に注意していることや心がけていることはありますか？
接触感染を防ぐことです。そのために、まずは手洗いの徹底を奨励しています。患者さんに接するときや処置の前後の徹底はどの職種にも言えることです。

感染症対策で難しいと思うことや苦労していることはありますか？
周知徹底の難しさです。伝達するたびに重要性や緊急性が薄まってしまったり、感染防止の方法が正しく伝わらなったりすることです。

一般の人でもできる対策はありますか？
外出後の手洗いやうがいは言い古されていることと思われるかもしれませんがやはり効果があります。これからの季節はインフルエンザ等がはやってきます。マスクをすることで予防効果を期待することも良いですが、一人ひとりが咳エチケットを守ることも大事だと思います。自分の咳や手が媒介になることを知っておくことも大事だと思います。

センター利用者のみなさまに対して、呼びかけやメッセージがあればお願いします。
これからの季節は手洗い・うがいを特に励行していただくとともに、咳エチケットも守っていただければと思います。消毒薬が整備されていない場合は流水で手を洗うだけでも結構です。病院を受診の際、インフルエンザなど感染症が疑われる場合は病院職員に声をかけてください。特に海外旅行後の発熱などは早めに教えていただければと思います。



《院内感染対策委員会 会議風景》

～院内行事～

平成22年度第3回医療安全研修会 9月24日(金)

演者：川崎メディカルコミュニケーションズ

川崎 賢二 先生

演題：「MRSA対策」

川崎メディカルコミュニケーションズの川崎賢二先生からMRSA(メチシリン耐性黄色ブドウ球菌)の対策に関するお話をいただき、職員が行うべき感染予防対策についての理解を深めることができました。センター職員118名が参加しました。



第71回学術講演会 11月8日(月)

演者：聖路加国際病院ハート・センター長

川副 浩平 先生

演題：「心臓弁膜症治療の展望」

聖路加国際病院の川副浩平先生のご専門は心臓血管外科で、弁形成術でも良く知られている先生です。講演後は当センターの医師から多くの質問や意見が出て、非常に内容の濃い講演会となりました。



～市民公開講座 1/22(土)ぜひご参加ください～

日時：平成23年1月22日(土)

14時～16時

場所：センター2階 多目的ホール

テーマ：

「狭心症・心筋梗塞について

～ならないために・なってしまったら～

循環器科 宮崎 彰 診療部長

「ここまで見える心臓CT

～最新CT装置の紹介と実際～

放射線科 今関 雅晴 専門員

申し込み方法

ご希望の方は、「市民公開講座希望」と明記し、郵便番号・住所・氏名・電話番号を記入の上、郵送またはFAXでご送付ください(電話も可)。当センター1階の総合受付脇のご意見箱でも受け付けています。

【連絡先】

〒290-0512 市原市鶴舞575

千葉県循環器病センター事務局管理課 担当：伊藤

TEL 0436 88 3111 FAX 0436-88-3032

ギャラリー 二つ返事

12月 押し花サークル花物語「押し花展」

1月 高澤 文雄「上総凧・ひな人形展」

2月 フォトクラブ紅陽「写真展」

センター2階のギャラリー二つ返事では、毎月様々な展示を行っています。ぜひお立ち寄りください。

ギャラリーの予約方法が変わります！

当センターでは、今までギャラリーの予約方法を先着制としていましたが、おかげさまで展示希望者の方々が増えてきましたので、展示者を公平に決定するため、ギャラリーの予約方法を抽選制とすることにしました。平成24年度(平成24年4月～平成25年3月)に展示するサークルの募集は平成23年4月中に行います。応募方法等詳細につきましては下記連絡先までお問い合わせください。

【展示風景】



長南フォトクラブ 写真展



鶴舞楽写クラブ 写真展



平三小学校 陶芸展

【連絡先】

〒290-0512 市原市鶴舞575

千葉県循環器病センター
事務局管理課 担当：伊藤

TEL 0436 88 3111

FAX 0436-88-3032